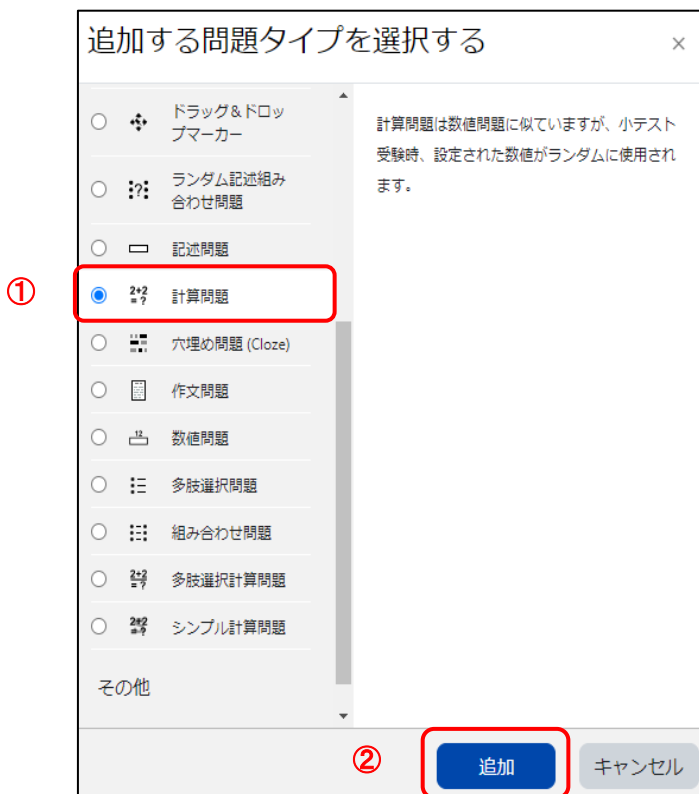


5.5.5 計算問題

計算問題は、数値問題に似ていますが、テスト実施時にワイルドカード(例: {x}、{y})を使用することで、ランダムな数値と置換される数値問題を作成できます。

例えば、長方形の面積を求める問題を作成する場合、2つのワイルドカード(例: {base}、{height})を持った問題を作成し、正解の公式に{base}*{height}を指定します。2つのワイルドカードは、設定した範囲内の数値からランダムに選択されて出題されます。

「追加する問題タイプを選択する」から「計算問題」を選択し(①)、「追加」をクリックします(②)。



「問題名」を入力し(①)、「問題テキスト」に問題文を入力します。問題文にワイルドカードを指定することによって、出題の際に、設定した範囲のランダムな数値と置換されます(②)。「デフォルト評点」に配点を入力します(③)。



「答え1の公式」に、「問題テキスト」で使用したワイルドカードを使った公式を設定します(①)。正解が複数ある場合は、「さらに1個の答え入力欄を追加する」をクリックし(②)、「答え2の公式」以降に入力し、それぞれの答えの公式に対して「デフォルト評点」で設定した点数の何パーセントを付与するかを「評点」に指定します。解答を1つ設定した場合は 100%とします(③)。

また、解答の数値に誤差を許容する場合は、「許容誤差」に許容する誤差を入力します(④)。

「答え表示」に解答数値の小数点以下の桁数あるいは有効数字を指定します。(⑤)。

設定が終了したら、「変更を保存する」をクリックします(⑥)。

次に、ワイルドカードで使用するデータセットを設定します。「次のページ」をクリックします。

使用するワイルドカードごとに、値の範囲を指定します。

「アイテムを追加する」で「追加」ボタンをクリックします。

追加

次のアイテムの追加方法

- 可能な場合、前の値を再利用する
- 非共有ワイルドカードのみ再生成を強制する
- すべてのワイルドカードの再生成を強制する

[「追加するアイテム」を仮取得する](#)

アイテムを追加する

追加 アイテムを追加する セットの新しいワイルドカード値

この問題を保存する前にあなたは少なくとも1つのデータセットアイテムを追加する必要があります。

[表示](#) ワイルドカード値のセット

画面下部にワイルドカードセットが表示されますので、「変更を保存する」をクリックします。これで計算問題の設定は終了です。

追加

次のアイテムの追加方法

- 可能な場合、前の値を再利用する
- 非共有ワイルドカードのみ再生成を強制する
- すべてのワイルドカードの再生成を強制する

[「追加するアイテム」を仮取得する](#)

アイテムを追加する

[追加](#) アイテムを追加する セットの新しいワイルドカード値

削除

[削除](#) アイテムを削除する1 セットのワイルドカード値

[表示](#) ワイルドカード値のセット

セット 1

ワイルドカード (base)	3.6	
ワイルドカード (height)	8.0	
{base}*{height}	3.6*8.0 = 28.80 正解: 28.80 - 範囲内の真の値: 最小: 28.8 --- 最大: 28.8	

変更を保存する [プレビュー](#)

設定した計算問題は、以下のように出題されます。

問題 1

未解答

最大評点 10.00

[問題をフラグを付ける](#)

[問題を編集する](#)

底辺が3.6cm、高さが8の長方形の面積を求めなさい。

答え:

[テストを終了する ...](#)